

証券コード：2453 < 東証プライム・名証プレミア >

困っている人を
助ける。 WE HELP
PEOPLE IN NEED.

JAPAN BEST RESCUE SYSTEM

JBR

JAPAN BEST RESCUE SYSTEM

決算説明資料

< FY2022 >

ジャパンベストレスキューシステム株式会社
2022年11月4日

内容	ページ
I. 決算概況	01
II. 主要指標	05
III. 業績予想	09
IV. よくあるご質問	12
V. データ集	13

YouTube 説明動画
公開中

[JBR Best IR Channel](#)



連続増収・営業増益を達成

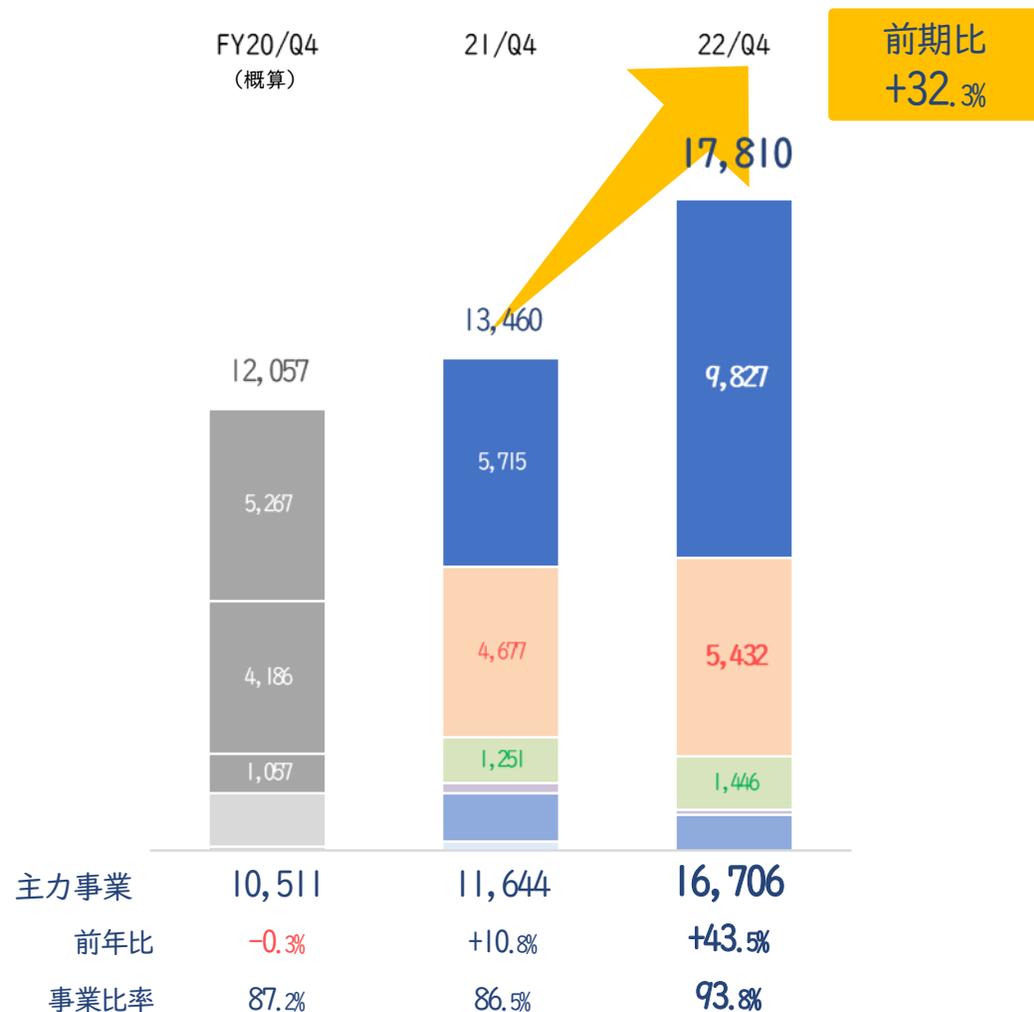
営業外の変動要因はFY22中に整理、環境変化に強い盤石の体制で今後も記録を更新していく

	FY20/Q4	21/Q4	22/Q4	前期比	
売上高	12,057	13,460	17,810	+4,349 +32.3%	過去最高 ACTG*買収の効果により前年比：+30%超
営業利益 (売上比)	1,367 (11.3%)	1,408 (10.5%)	1,459 (8.2%)	+51 +3.7%	歴代2位 8/5開示の業績予想に対して保証事業が上振れ
経常利益	1,798	1,740	1,173	-567	業績予想の通り (8/5開示) 利益を押し下げた自社株価予約取引の解約完了 …FY23には影響なし
親会社株主に帰属する 当期純利益	997	56	437	+381	業績予想の通り (8/5開示) <FY21> ACTG買収に伴う特損：-995百万円 <FY22> ACTG合併に伴う特損：-170百万円 } 将来にわたり償却負担が軽減
EBITDA (売上比)	1,579 (13.1%)	1,653 (12.3%)	2,047 (11.5%)	+394 +23.8%	過去最高 収益力が継続的に向上

*アクトコール社・TSUNAGU社

4期連続で過去最高を更新

ストック型の収益構造を持つ、主力3事業が力強く成長



前期差	+4,349	増収
会員	+4,112 +72.0%	セグメント変更後も全社の成長を牽引 + 374 会員の獲得による純増 +3,505 ACTG 前期末に競合を完全子会社化 + 233 新収益認識基準 通期でプラス影響が継続
保険	+754 +16.1%	被保険者の獲得による純増
保証	+194 +15.6%	会員の獲得による純増
その他	-110	感染拡大防止事業は、FY21/下期~FY22/上期で終了
駆けつけ	-375	出勤件数の減少による減収
ライフテック	-230	事業撤退に伴い、前期末にセグメント廃止
調整額	+3	

2期連続増益を達成

会員・保険事業の配賦負担や契約準備金の影響はP.04へ



前期差	+51	増益
会員	-99 -9.6%	+204 会員の獲得による実態利益の増加 -487 事業再編に伴う配賦負担等の増加 +183 ACTGの利益貢献 営業利益:366百万円 - のれん償却:183百万円
保険	+20 +5.5%	+216 被保険者の獲得による実態利益の増加 -196 獲得ペース増加に伴い、準備金の繰入が増加 <FY21> -84百万円 → <FY22> -281百万円
保証	+69 +14.3%	会員の獲得による純増
その他	-75	感染拡大防止事業に代わる新規事業スタート(詳細 P.09)
駆けつけ	-55	出勤件数の減少による減益
ライフテック	+222	事業撤退に伴い、前期末にセグメント廃止
調整額	-30	

主力事業の実力を示す実態利益は継続的に成長

実態利益 = 営業利益(開示値) - ① 特殊要因 + ② 配賦負担

会員セグメント

< 特殊要因 > 事業再編によるセグメント負担増加

	FY20/Q4	21/Q4	22/Q4
実態利益	1,989	2,066	2,301
前期比	+4.3%	+3.9%	+11.4%

	FY20/Q4	21/Q4	22/Q4
営業利益(開示値)	1,544	*1,644	936
前期比	+2.2%	+6.5%	-43.1%
① 事業再編	-	455	536
② 配賦負担	+	900	958
			1,405

*FY21/Q4決算開示における数値

① 事業再編	<p>FY21-22の間で事業内容が変動</p> <p>OUT >> 保証事業(JWS)、その他(感染拡大防止事業)</p> <p>IN << 旧ライフテック組織、リペア事業</p>
② 配賦負担	<p>JBRでは全社横断的に生じる費用を、人員数等に応じて配賦</p> <p>会員セグメントの全社に占める比率が上昇したため増加</p> <p>また配賦費用の総額も、ERPの償却開始等により増加</p>

保険セグメント

< 特殊要因 > 保険金支払いに備える準備金の増減

	FY20/Q4	21/Q4	22/Q4
実態利益	357	450	668
前期比	-32.1%	+25.9%	+48.4%

	FY20/Q4	21/Q4	22/Q4
営業利益(開示値)	338	361	381
前期比	-5.5%	+6.8%	+5.5%
① 契約準備金	-	-11	-84
② 配賦負担	+	7	3
			4

① 契約準備金	<p>保険業法に定められた会計処理に従って</p> <p>毎四半期 プラス or マイナス影響が発生</p> <p>原則として、契約獲得が...</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活発な時 >> マイナス影響 ・落ち着いた時 >> プラス影響
② 配賦負担	<p>保険事業はグループ会社で運営しており、負担は軽微</p>

不採算案件を解消したFY19以来、3期連続で会員増を達成

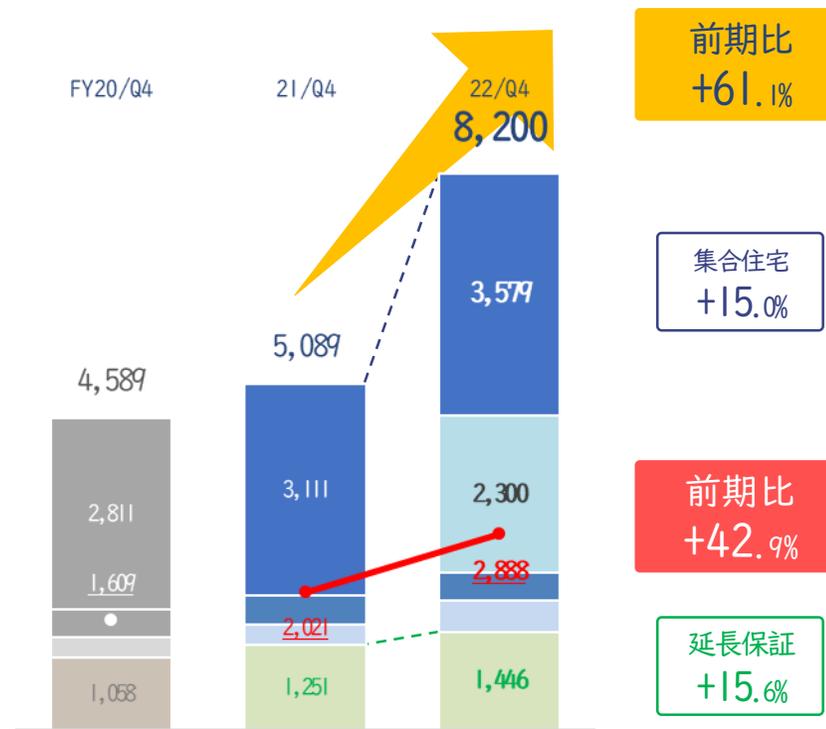
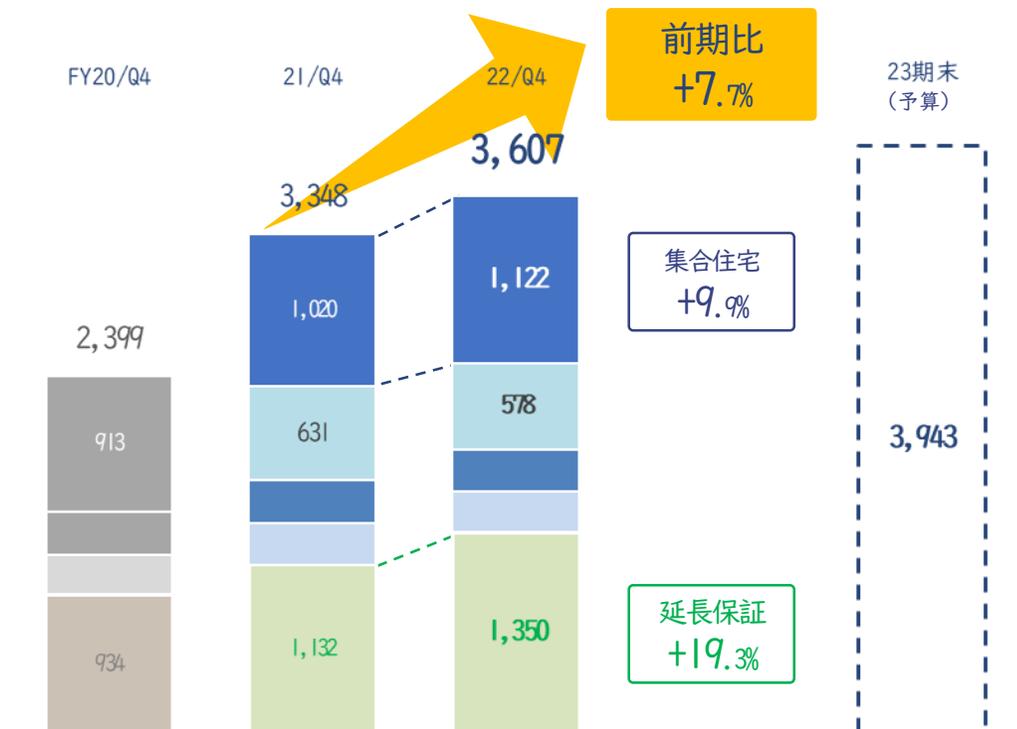
ACTGはFY22末に一部で不採算整理・解約が生じたため会員数が減少

会員数(千人)

会費収入・出動費(百万円)

FY23の会員増は控えめに計画

出動費用の増加を適切にコントロール



※ FY21末をもって買収したため、ACTGに係るFY21中の会費・出動費なし

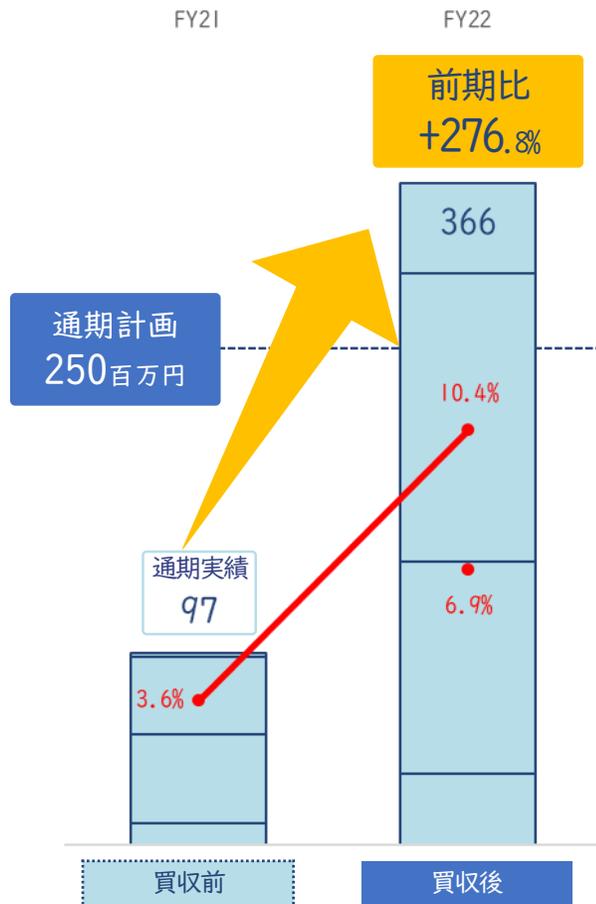
< 凡例 >



グループ入り3年後の目標を初年度で超過達成

更なる収益改善や顧客・クライアント満足の上に向け、統合効果の最大化を図る

営業利益・利益率(百万円)



これまでの成果

【2021/9/30】株式交換により買収
独立した3社が連携して改善推進

<営業利益>
前期差：+2.6億円

- +1.7：コール費、出勤費用の是正
- +1.3：人件費、管理委託費用の削減
- 0.4：不採算是正等による会員減

<改善進捗>
計画達成率：146.5%
営業利益率：10.4%

PMI前に設定した目標6.9%
3年後の目標9.0%

即効性のある対外的な是正は
一定の成果を出し切った

今後の取り組み

【2022/10/1】吸収合併
合併による効率化でさらに続伸

重複業務やシステムの統合

管理部門の効率向上

相互の強みを活かした改善

JBRの利益水準：20%はもちろん、
JBRだけでは届かなかった次元を目指す

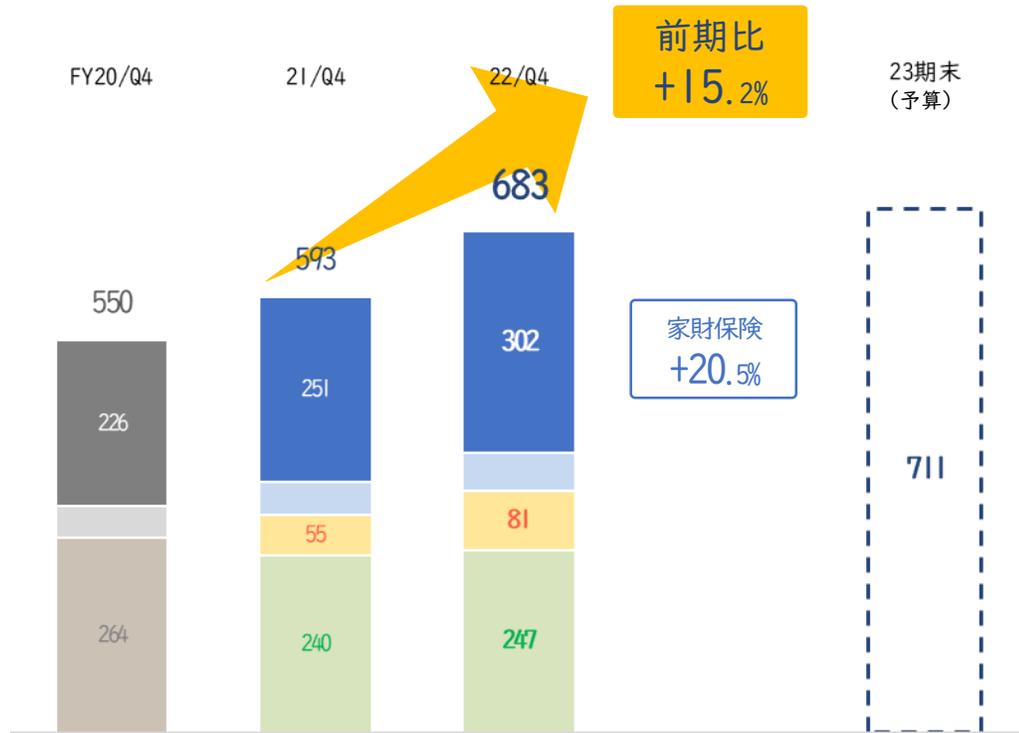
次のフェーズへ

主力商品である家財保険は年間：20%成長を達成

新規獲得はハイペースが続き、FY23の契約準備金はFY22並みと試算（詳細 P.10）

被保険者数(千人)

スマホ・スポーツクラブも順調に増加



保険料収入(百万円)

収入増は家財保険の獲得ペースに連動



< 凡例 >



420万件超の安心を提供し、地方創生に貢献するシステム

全ての「困っている人を助ける」ため、様々な販路やサービス内容を拡大中

We create the Best Rescue System
いつも暮らしに寄り添い、
安心できるベストな仕組みやサービスを創る

サービス例



Mission

困っている人を助ける

Vision

Value

正しくあれ : お客さま、仲間、自分に誠実に
優しくあれ : 相手を敬い、おごらず、謙虚に
挑戦者であれ : 失敗を恐れず、前に進むことを大切に

サービス契約数

4,292千件

(FY22/9月末時点)



困っていた人

348,581件

(FY22/9月までの12か月)

生活トラブル

延長保証

保険



営業利益でFY19以来の過去最高を狙う

外部環境や営業外の変動性を極力抑えた、ストック型ビジネスの強みを最大限発揮する

	FY22 実績	FY23 予想	差異	主な内容
売上高	17,810	18,300	+489 (+2.8%)	+929 主力3事業の続伸により、売上高は過去最高を5期連続更新 +370 伊藤忠案件として中古携帯 回収事業に参入 -810 駆けつけ事業譲渡
営業利益 (売上比)	1,459 (8.2%)	1,650 (9.0%)	+190 (+13.0%)	+210 主力3事業の続伸により、ストック型の持続的な利益を実現 +55 中古携帯の回収を含む、ラストマイル事業の貢献 -35 感染拡大防止事業の反動減 -40 駆けつけ事業譲渡に伴う減少
経常利益	1,173	1,500	+326 (+27.9%)	+190 営業利益 +490 <FY22> 自社株価予約取引等、期中に整理した一過性コスト -353 有価証券売却益等の不確定要素は織り込まず
親会社株主に帰属する 当期純利益	437	950	+512 (+116.9%)	+326 経常利益 +213 <FY22> ACTG合併等に伴う資産最適化を実施 -28 駆けつけ事業の株式譲渡に伴う特別損失を計上
EBITDA (売上比)	2,047 (11.5%)	2,154 (11.8%)	+107 (+5.2%)	全社の収益力が継続的に向上

ストック型収益による下期偏重の傾向はFY23も継続

特に上期は保険事業の急成長と、感染拡大防止事業の反動で前年より利益縮小

売上高(百万円)

営業利益(百万円)

全四半期を通じて前年比プラスが継続

契約準備金影響を除くと全四半期で前年比プラス

<上期> 88.0→90.7億円

<下期> 90.0→92.2億円

<上期> 7.3→6.2億円

<下期> 7.2→10.3億円



▶ 会員

継続的な会員数の増加、ACTG合併に伴う効果発現とコールセンターの原価低減により利益率を向上していく一方で駆けつけ事業からの撤退に伴い、会員セグメントの配賦負担は増加 …実態利益と営業利益の乖離が拡大

▶ 保険

家財保険の他社からの流入によりFY22下期から急成長、全社の営業利益に契約準備金が影響
 契約準備金のマイナス影響：2.8億円(FY22計) はFY23も同規模となるが、FY23/Q4に2年間で初めて業績にプラス貢献

契約準備金 影響額

▶ 保証

FY22の株式上場を機に新規提携も加速しており、住宅メーカーを中心とした引き合いが増加中

▶ その他

既存インフラを活用したラストマイル事業の一環として、感染拡大防止事業(自治体の要請に基づく飲食店の巡回)をFY21下期~FY22上期に実施
 FY23より伊藤忠商事のトレジャー端末(中古携帯)回収事業に本格参入し、国内2.6億台のオフライン回収を開始する他、JAF案件の本格的な会員獲得スキーム構築による業績貢献や、DX分野での新規サービス創出等を狙う

FY22中に実現した案件の業績貢献が始まる

伊藤忠商事と協議中の20件以上に及ぶ案件も順調に進捗中

新規提携

時期	提携先・業界	サービス	規模
発表済	① JAF	生活トラブル	2,100万件
	② 伊藤忠商事	中古携帯回収	2.6億台
近日	センチュリー21	生活トラブル	229k件
	大手インフラ	生活トラブル	-
	不動産会社	生活トラブル	-

① JAFのホームライフサポート

FY23/9 目標: 5k件

4月サービス開始、現在 会員数: 1.3k件(FY22/9末)

本格的な獲得スキーム構築による効果は目標に未反映

→ 自動車販売等のタッチポイント活用

② トレジャー端末 回収事業

FY23/9 目標: 57k台

伊藤忠との提携により実現したラストマイル事業

ストック型にはないスピード感で業績貢献を狙う

→ 売上高: 3.7億円を業績予想に反映済

展開方針

サービス	方針
生活 トラブル	持ち家市場に向けた展開を加速 リペア付帯型サービスも強化
延長保証	住宅・設備メーカーへの営業注力 商流の川上を抑えた効率的な拡販を追求
保険	提携関係を活かした新商品開発 伊藤忠・ミニミニ等の大口販路も開拓
ラストマイル	既存インフラを活用した新サービス開発 食品宅配バックアップ、飲食店見回り、高齢者見守り、 自転車アフターサービス、中古携帯回収等

<< 当社と提携をご検討中の法人さま >>

当社では幅広い業種・業界との提携を実現しております
お気軽に下記アドレスまで、お問い合わせください

info@jbr.co.jp

1. FY22/9期を振り返ってどうでしたか？

大規模な提携実現が相次ぎ、将来の成長性を高められた一方で、変動要素を吸収しきれなかった反省を踏まえて、FY23業績予想を作成しました。

2. 変動要素とは？

駆けつけ事業の不振による営業利益への影響と、自社株価予約取引による経常利益への影響が、FY22における主要な変動要素となりました。

3. M&A後のPMIの状況は？

ACTGの営業利益は、買収前の目標比：1.5倍を達成しました。
詳しくはP.06をご覧ください。

4. 伊藤忠との取り組みは？

「その他」セグメントにおけるラストマイル事業として、中古携帯の回収事業を開始している他、引き続き20件余りの協議が進んでおります。

5. 社会情勢の変化は業績に影響しそう？

当社のビジネスモデルは、外部環境の影響を受けづらいストック型です。
コロナ禍やウクライナ情勢、物価変動による大きな影響はない見込みです。

6. FY23/9期の業績予想は？

不確定要素を極力除外した、必達計画としております。
詳しくはP.09～P.11をご覧ください。

7. 駆けつけ事業の株式譲渡による影響は？

売上高の減少や、株式譲渡に伴う特別損失等を反映しました。
詳しくはP.09をご覧ください。

8. 会社説明の資料は？

内容を充実させるため、別途ご用意しております。
最新版の公開まで、しばらくお待ちください。
https://www.jbr.co.jp/ir_info/irlibrary_account/

9. 決算説明会の予定は？

機関投資家を対象とした決算説明会を開催予定です。
後日、YouTube上でアーカイブを公開させていただきます。

10. 不明点の問い合わせは？

最終ページに記載の連絡先までお寄せください。

主力事業のサービス契約数と共に継続的に事業成長

(千件)	FY18				FY19				FY20				FY21				FY22			
	Q1	Q2	Q3	Q4																
サービス契約数	2,506	2,575	2,521	2,522	2,531	2,583	2,428	2,482	2,508	2,605	2,867	2,950	3,049	3,176	3,243	3,940	4,005	4,175	4,271	4,292
(百万円)																				
売上高	2,795	3,112	2,957	2,901	2,945	3,166	3,074	2,824	2,871	3,124	3,027	3,033	3,156	3,481	3,584	3,238	4,330	4,476	4,570	4,432
営業利益	267	383	345	433	352	386	385	513	307	343	398	318	375	296	452	283	403	334	436	285
経常利益	347	382	475	438	396	481	374	714	323	342	437	695	432	382	492	433	369	326	203	273
純利益	281	282	335	292	257	754	105	521	143	116	250	487	302	238	335	-820	317	201	-144	64
EBITDA	308	423	385	472	395	429	428	559	352	391	456	378	430	354	518	349	546	478	587	434
(百万円)																				
総資産	13,281	13,556	14,243	14,865	14,728	14,865	17,599	18,761	19,075	19,518	20,146	21,204	21,494	22,249	22,903	28,175	27,694	28,276	29,080	27,884
負債	7,846	7,946	8,357	8,823	8,703	10,549	9,905	10,657	10,810	12,964	12,835	13,296	13,551	13,954	14,546	16,507	16,763	17,445	18,165	17,081
前受収益 計	4,704	5,019	5,381	5,661	5,803	6,095	6,332	6,710	6,807	6,985	7,442	7,640	7,806	8,054	8,616	9,266	9,843	9,992	10,548	10,576
前受収益	1,347	1,494	1,594	1,658	1,655	1,751	1,770	1,824	1,815	1,846	1,976	1,982	1,982	2,034	2,173	2,698	3,048	3,089	3,121	3,064
長期前受収益	3,356	3,525	3,786	4,003	4,148	4,343	4,561	4,885	4,992	5,138	5,465	5,657	5,823	6,019	6,443	6,567	6,794	6,903	7,426	7,511
純資産	5,430	5,609	5,885	6,042	6,024	6,926	7,693	8,104	8,265	6,553	7,310	7,907	7,942	8,295	8,357	11,668	10,930	10,831	10,914	10,802
自己資本比率	40.9%	41.4%	41.3%	40.6%	40.8%	39.5%	42.5%	42.1%	41.7%	32.0%	34.7%	35.8%	35.5%	35.8%	35.0%	40.2%	38.2%	36.5%	34.4%	35.4%

将来の売上に当たる前受収益の合計は、ついに100億円を突破

不採算案件の整理等を経て、高成長フェーズに突入

(千件)	FY18				FY19				FY20				FY21				FY22			
	Q1	Q2	Q3	Q4																
会員数	2,233	2,305	2,247	2,247	2,259	2,310	2,168	2,222	2,245	2,347	2,338	2,399	2,492	2,601	2,657	3,348	3,411	3,569	3,620	3,607
生活トラブル	1,755	1,786	1,699	1,664	1,636	1,646	1,464	1,464	1,441	1,500	1,454	1,465	1,506	1,565	1,575	2,216	2,226	2,330	2,310	2,256
集合住宅	811	840	822	830	840	865	854	870	864	909	897	913	930	964	1,009	1,020	1,038	1,100	1,106	1,122
ACTG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	631	624	640	645	578
大学生	252	286	271	273	273	300	285	286	286	314	289	290	290	318	288	288	288	316	282	282
dリビング	251	241	214	189	166	145	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	439	417	391	371	356	335	323	308	290	275	267	261	285	282	277	275	275	272	276	273
延長保証	477	519	547	583	622	663	704	758	804	846	883	934	986	1,036	1,082	1,132	1,185	1,239	1,310	1,350
(百万円)																				
会費収入	988	1,130	1,156	1,081	1,109	1,214	1,215	1,108	1,088	1,184	1,169	1,146	1,188	1,280	1,324	1,296	1,993	2,036	2,100	2,069
生活トラブル	819	948	965	884	893	987	985	857	832	919	904	874	887	972	1,008	969	1,648	1,682	1,736	1,687
集合住宅	506	631	660	601	626	729	729	669	652	735	727	696	706	786	828	790	847	876	917	937
ACTG	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	577	586	600	535
大学生	91	96	96	97	97	101	100	101	100	104	100	102	103	108	102	102	103	105	102	101
dリビング	112	111	101	89	78	68	66	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	109	109	105	96	90	87	88	85	80	79	76	76	77	78	77	76	120	113	115	111
延長保証	168	182	191	197	215	226	230	250	255	265	265	271	300	308	315	326	345	354	364	382
出動費	538	498	532	554	573	520	536	397	392	396	376	443	488	519	489	524	701	734	712	740

国内トップレベルの商品開発力で、新商品を続々と投入

(件)	FY18				FY19				FY20				FY21				FY22			
	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
商品数*1	9	9	9	9	9	9	9	11	12	14	14	14	17	17	17	17	17	18	18	18
少額短期保険	9	9	9	9	9	9	9	9	9	10	10	10	11	11	11	11	11	12	12	12
損害保険	-	-	-	-	-	-	-	2	3	4	4	4	6	6	6	6	6	6	6	6
(千件)																				
被保険者数	272	269	274	274	272	272	259	259	262	258	529	550	556	574	585	593	593	606	650	683
家財保険	175	180	184	187	182	194	197	201	207	215	221	226	231	240	246	251	257	272	289	302
スポーツクラブ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	264	264	246	242	241	240	228	222	239	247
スマホ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	34	46	52	55	60	63	70	81
その他	97	89	89	87	89	78	61	58	55	42	43	43	44	44	45	46	47	48	51	51
(百万円)																				
保険料収入	450	581	534	463	484	629	570	493	509	654	597	561	590	734	701	616	638	822	914	827
家財保険	345	484	419	366	389	533	471	404	422	574	504	465	490	630	579	502	527	713	759	681
スポーツクラブ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	17	18	18	19	20	18	18	20	22
スマホ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	11	17	20	21	23	23	23	25
その他	104	97	115	96	94	96	99	89	86	80	81	73	70	67	81	72	69	66	110	98
契約準備金*2	-3	+35	-3	+1	+0	-8	-13	-127	+15	-18	+28	-38	+15	-7	-39	-52	-7	-38	-73	-161

*1 各期末における普通保険約款の数

*2 保険業法に基づく会計処理により、各四半期の営業利益は増減しやすい

JBR

JAPAN BEST RESCUE SYSTEM

注意事項

本資料で記述している業績予想や将来の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、リスクや不確定な要素が含まれています。そのため、実際の成果や業績等は記載の予想とは異なる可能性があることをご承知おきください。

本資料・IR問い合わせ先：経営企画部 タケウチ シンヤ 竹内・新矢

E-mail : ir@jbr.co.jp

UD
FONT

ユニバーサルデザイン(UD)の考え方に基づき、
より多くの人へ適切に情報を伝えられるよう配慮した
見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。